

第6学年 道徳科学習指導案

1 **主題名** かたよらない心で 【C 公正、公平、社会正義】

2 **教材名** ピンクのバッグ

3 **本時のねらい**

偏った見方をしてしまった登場人物の心情を話し合う活動を通して、偏った見方をしてしまう弱さや、公正、公平な態度で接することの大切さに気づき、だれに対しても偏見をもつことなく公正、公平に接しようとする。

4 **児童の実態**

児童アンケートの結果、多くの児童が自分の見方・考え方を書くことに苦手意識をもっていることが分かった。その原因として、自分の考えを言い表す語彙力が足りないと考え、授業内で出た言葉の意味を小集団で考え、自分の辞書として記録に残す活動を続けている。また、小集団で話し合う活動を授業内に位置づけることで、仲間の考えに耳を傾け、自分の考えや思いを話したり、考えの構築をしたり、自ら考えようとする児童が増えた。

主題に係わっては、学級内において男女の偏見はあまりないが、過去の出来事から仲間の性格を決めつけ、相手を不快にさせる発言することが多々ある。多数派に同調したり、他人事と傍観したりすることが、偏見や差別を生み出していくことを自覚し、「自分たち」の集団で起こっている問題として考え、自らが積極的に関わっていかうとする意欲を育てたい。

5 **本時の展開** (☆…深めの発問)

		学習活動
導入	1	<p>「男の子」「女の子」という言葉から浮かぶイメージを想起し、教材への感心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「男の子」：青色。黒色。力持ち。強い。 ○「女の子」：赤色。ピンク。おしとやか。
展開	2	<p>教材「ピンクのバッグ」を読んで、話し合う。</p> <p>(1) おばあちゃんはどうな思い込みをしていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女の子はピンク色が好きだと思込んでいる。 ○水色よりピンクの方が良いと思込んでいる。 <p>(2) 加奈がマリアは英語ができると思込んだのは、どうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マリアが外国から来たから英語ができる。 ○肌の色が違うから、英語が話せそう。 <p>(3) 教科書に記載されている4つの場面を読み、自分の生活を振り返って、同じように思いこんでしまった経験はありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○血液型で決めつけてしまったことがある。 <p>(4) いつの間にか思い込んだり、偏った見方をしたりしてしまうのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> →偏った見方によって相手はどんな気持ちになりますか。 ○自分の経験をもとに判断してしまうから。 ○相手のことをよく知らないのに、見た目や性別、出身だけで決めつけたから。 ○偏った見方をされると、いやな思いをする。 →☆「相手をよく知る」とはどういうことでしょうか。 ○正しく知る。 ○様々な面を知る。
終末	3	<p>授業内で出た言葉の意味を小集団で考え、ワードディクショナリーに記録に残す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無意識：何も考えていない。深く考えていない。 ○差別：勝手な理由で、人によって違う接し方をすること。 ○よく知る：正しく知る。様々な面を知る。
	4	<p>本時の学習を通して考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今まで自分も同じように偏った見方をしたことがあったから、相手の気持ちを考えて発言するようにしたい。 ○周りで偏った見方をしている友達がいたら、注意できるようにしたい。

◆評価規準

自分の中にも、偏った見方をしたり決めつけてたりしていることがないか振り返り、そういった考え方を改める大切さを自分事として考えることができる。